

# BCST-73

Bluetooth® 2D バーコードスキャナー

## 取扱説明書

## コンテンツ

ご注意	1
BCST-73 バーコードスキャナーについて	2
製品パラメータ	2
LED インジケータ	3
ビープ音	3
対応バーコード	4
快速開始	6
基本設定	7
システム設定	7
キーボード設定	7
カスタム設定を保存する	8
工場出荷時の設定に戻す	9
ソフトウェアのバージョン番号の確認	9
バッテリー残量表示	10
データ伝送スピード	10
自動スリープモード	11
データバッファ	12
在庫モード	13
照明光制御	14
ビゲーショナイト制御	15
ナビゲーショナイト点滅	15
音量調整	15
振動通知	16
スキャンモード	17
自動赤色光遮断モード	17
連続読み取りモード	18
手動モード	19
ハンズフリーモード	19
接続方法	20
ワイヤレスアダプターモード	20
Bluetooth モード	22

Bluetooth SPP Mode .....	22
Bluetooth HID Mode .....	24
Bluetooth 名前の設定 .....	26
有線 USB モード .....	26
バーコード設定 .....	27
Codabar .....	27
Codabar を有効/無効にする .....	27
スタート・ストップキャラクタを伝送する .....	27
Code 11 .....	27
Code 11 を有効/無効にする .....	27
チェックサム検証 .....	27
Code 128 .....	29
Code128 を有効/無効にする .....	29
GS1-128 (UCC-128/EAN-128 ) .....	29
GS1-128 (UCC-128/EAN-128) を有効/無効にする .....	29
USPS と FedEx .....	29
USPS と FedEx を有効/無効にする .....	29
Code 39 .....	30
Code 39 を有効/無効にする .....	30
スタート・ストップキャラクタを伝送する .....	30
チェックサム検証 .....	30
ASCII コード認識範囲の設定 .....	31
VIN (車両識別番号) .....	32
Code 39 VIN (車両識別番号) を有効/無効にする .....	32
Code 32 .....	33
Code 32 を有効/無効にする .....	33
Code 93 .....	33
Code 93 を有効/無効にする .....	33
EAN-8 .....	34
EAN-8 を有効/無効にする .....	34
チェックサム検証 .....	34
EAN-13 .....	34

EAN-13 を有効/無効する .....	34
チェックサム検証 .....	34
ISBN .....	35
EAN-13 を ISBN に変換する .....	35
EAN-13 を ISSN に変換する .....	35
MSI .....	35
MSI を有効/無効する .....	35
Checksum Code チェックサム検証 .....	35
UPC-A .....	37
UPC-A を有効/無効にする .....	37
UPC-A に 0 を付加する .....	37
チェックサム検証 .....	37
ナンバーシステムキャラクタ .....	37
UPC-E .....	39
UPC-E を有効/無効にする .....	39
UPC-E1 を有効/無効にする .....	39
UPC-E の先頭文字を有効/無効にする .....	39
UPC-E を UPC-A に変換する .....	39
チェックサム検証 .....	39
IATA 2 of 5 .....	40
IATA 25 を有効/無効にする .....	40
Interleaved 2 of 5 .....	40
Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする .....	40
Matrix 2 of 5 .....	40
Matrix 2 of 5 を有効/無効にする .....	40
Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5 .....	41
Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効する .....	41
GS1 DataBar .....	41
GS1 DataBar を有効/無効する .....	41
GS1 DataBar Composite を有効/無効する .....	41
QR Code .....	42
QR Code を有効/無効する .....	42

通常/白黒反転 QR コード認識.....	42
Data Matrix.....	42
Data Matrix を有効/無効する.....	42
通常/白黒反転 Data Matrix 認識.....	43
PDF 417.....	43
PDF 417 を有効/無効する.....	43
Aztec code.....	44
Aztec Code を有効/無効する.....	44
Maxi code.....	44
Maxi Code を有効/無効する.....	44
Han Xin Code.....	44
Han Xin Code を有効/無効する.....	44
データフォーマットを編集する.....	45
Code ID.....	45
Code ID リスト.....	45
バーコードの停止コードに関する設定.....	46
プレフィックス/サフィックス設定.....	47
バーコードデータの先頭/末尾文字の削除.....	48
大文字/小文字の設定.....	49
追加コード.....	50
区切り文字.....	51
Caps Lock 制御.....	51
特定の文字で始まるバーコードのみを出力する.....	52
白黒反転したバーコードを出力する.....	53
特定の開始文字を非表示する.....	53
タイムスタンプ.....	54
ショートカットキー.....	57
出力文字タイプ.....	58
GS ( ^ ) をランダム文字に置換.....	59
付録 I : キャラクター.....	60
付録 II : 単独ショートカットキー.....	67
付録 III : 組み合わせショートカット.....	69

## ご注意

### 安全な使用のために

感電や火災の原因になりますので、装置やバッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

本機は、火のそば、炎天下の車内、直射日光の当たる場所などで放置をしないでください。

### お手入れについて

清潔なタオルでスキャナーの外表面を拭きます。

振動、ほこり、高温、低温、多湿、強い磁気、直射日光を避ける場所に保管してください。

故障が発生した場合は、不具合の状況を記録し、カスタマーサービスにご連絡ください。

## BCST-73 バーコードスキャナーについて

### 製品パラメータ

商品型番	BCST-73
材質	PC+TPU
電池容量	2600mAh
電源	DC 5V
メモリー	4 Mb
適用可能なバーコード	Code 128, EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, Code 39, Code 93, Codabar, Interleaved 2 of 5, Standard 2 of 5, Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, IATA 2 of 5, MSI, Code 11, ISBN, ISSN, GS1 128, GS1 DataBar, GS1 DataBar Expanded, GS1 DataBar Limited, QRCode, PDF-417, AztecCode, Maxi Code, Data Matrix, Han Xin Code
デコードレート	200 回/秒
印刷コントラスト	25%
デコードアングル	ロール 0-360°、ピッチ±55°、ヨー±55°
無線周波数 (Bluetooth モード)	2.402GHz - 2.480GHz
伝送速度 (Bluetooth モード)	1Mbps
無線周波数(ワイヤレスアダプターモード)	2.402GHz~2.480GHz
伝送距離(ワイヤレスアダプターモード)	35m

## LED インジケータ

LED インジケータ状態	動作
緑色の LED が点滅している	BCST-73 が Bluetooth ワイヤレステクノロジーを介してペアリングされているが、デバイスに接続されていません。スキャナは再接続しようとしています。
緑色の LED が一回点滅した	バーコードが正常に読み取られ、コンピュータにアップロードされました。
青色の LED が点滅している	Bluetooth 接続待ちの状態、他のデバイスで検出可能となります。
青色の LED が一回点滅した	バーコードは正常に読み取られ、バッファに保存されました。
青色の LED が常時点灯している	セットアップモード
黄色の LED が点滅	ローバッテリー
赤色の LED が常時点灯している	充電中 (満充電になると赤色の LED が消灯します。)

## ビープ音

ビープ音	動作
短い高音 ( 100ms ) が 1 回鳴った。	バーコードを正常に読み取りました。
短い高音 ( 20ms ) が 1 回鳴った。	データはスキャナから PC/スマートフォン等デバイスにアップロードされました。
長い高音 ( 400ms ) が 1 回鳴った。	設定エラー ( セットアップ状態では、青色の LED は点灯したままです ) Bluetooth ペアリング失敗 ( ペアリング中のみ発生します ) バッファ容量がなくなったため、スキャンされたバーコードは保存されません。



長い高音 ( 800ms ) は 2 回または数回を鳴った	USB が認識されています。
三和音 ( 低音から高音 )	セットアップモードに入りました。(青色 LED が点灯) 設定モードを終了しました。(青色 LED 消灯)
三和音 ( 高音から低音 )	Bluetooth 接続が成功しました。
短い音が 2 回鳴った	Bluetooth 接続が中断しました。
短い音 ( 低音から高音まで ) が 2 回鳴った。	設定に成功しました。
短いピープ音 ( 高音から低音 ) が 2 回鳴った。	PC/スマートフォン等デバイスとの接続が中断されました。
長い高音が 2 回鳴った。(高音から中音)	ワイヤレスモードでスキャナーの電源が入れました ( USB 接続が切断されている )
長い高音が 2 回鳴った。(中音から高音)	ワイヤレスモードでスキャナーの電源が切れました ( USB 接続が切断されている )

## 対応バーコード

BCST-73 が対応可能なバーコードは、下記のリストで確認してください。詳しくは、バーコードタイプ設定をご覧ください。

対応可能バーコード	プリセット
Codabar	有効
Code 11	無効
Code 128	有効
GS1-128 (UCC/EAN-128)	無効
USPS	有効
FedEx	有効
Code 39	有効
Code 32	無効
Code 93	有効

EAN-8		有効
EAN-13		有効
ISBN		無効
ISSN		無効
MSI		無効
UPC- A		有効
UPC- E		有効
2 of 5 barcodes	IATA 2 of 5	無効
	Interleaved 2 of 5	有効
	Matrix 2 of 5	無効
	Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5	無効
QRCode		有効
PDF-417		有効
Aztec Code		無効
Maxi Code		無効
Data Matrix		有効
Han Xin Code		無効
GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited		有効

## 快速開始

本書の設定用バーコードを読み取ることにより、BCST-73 バーコードスキャナーの設定を変更することができます。BCST-73 スキャナーの設定例は以下のとおりです。

ご注意：出荷時のデフォルト設定は、「\*」で示されています

ステップ	動作	
1	スイッチを「ON」に切り替え、スキャントリガーを短く押してスキャナーの電源をオンにします。	
2	バーコードをスキャンしてセットアップモードに入ります。  セットアップ	
3	設定バーコードを読み取ります。例えば：  Codabar を有効する	
4	下記のバーコードを読み取ってセットアップモードを終了します  保存して終了	下記のバーコードを読み取って誤ってスキャンした設定バーコードをクリアします。  保存せず終了



セットアップ

## 基本設定

### システム設定

BCST-73 は Windows、Android、MacOS と互換性があります。 デフォルトでは Windows/Android 適応に設定しています。 下記の関連バーコードをスキャンしてシステムを設定することができます。

ご注意： Android デバイスで BCST-73 を使用する場合は、Gboard を入力として適用してください。 スキャナを「Windows / Android」モードに、入力キーボードを「アメリカンキーボード」に設定してください。 スキャナキーボードの言語を Gboard 対応可能の US キーボードに設定する必要があります。 Gboard の言語設定は出力に影響しません。



(\*) Windows/Android モード



Mac OS/iOS モード

### キーボード設定



(\*) US キーボード



ドイツ語キーボード



フランス語キーボード



スペイン語キーボード



イタリア語キーボード



UK キーボード



保存して終了



セットアップ



日本語キーボード (ローマ字)



カナダ語キーボード



セルビア語キーボード

### カスタム設定を保存する

BCST-73 は設定をカスタマイズして保存することができます。カスタム設定を保存するには、「セットアップ」-「カスタム設定のバーコード」(例えば、「出力コード ID」)-「カスタム設定の保存」バーコードを順番に取り取ります。「カスタム設定の保存」バーコードを読み取ると、スキャナーはセットアップモードを終了します。

スキャナーを再構成してから、カスタム設定に復元したい場合は、「セットアップ」-「カスタム設定の復元」バーコードを読み取ります。「カスタム設定の復元」バーコードを読み取ると、セットアップモードを終了します。



カスタム設定の保存



カスタム設定を復元



保存して終了



セットアップ

## 工場出荷時の設定に戻す

以下の状況では、「工場出荷時の設定に戻す」のご利用をお勧めします。

設定が間違っているか、バーコードの読み取りに失敗した場合。

2. 以前の設定が忘れられました、バーコードスキャンがそちらの設定の影響を受けたくない場合。

3. よく使われない設定を使用した後、初期設定に復元する場合。

「セットアップ」-「工場出荷時の設定に戻す」バーコードを順番にスキャンします。「保存して終了」のバーコードを読み取る必要はありません。

ご注意：工場出荷時の設定に戻した場合、在庫モードで保存されたデータはクリアされます。



工場出荷時の設定に戻す

## ソフトウェアのバージョン番号の確認

ソフトウェアバージョンを確認するには、バーコード「セットアップ」-「ソフトウェアのバージョン番号の確認」をスキャンします。ソフトウェアのバージョン番号は、BCST-73 に接続されているデバイスに出力されます。

ソフトウェアのバージョンを確認するには、通常、設定モードで実行されるため、ソフトウェアバージョンの表示後に「保存せずに終了」バーコードをスキャンする必要があります。



ソフトウェアのバージョン番号の確認



保存して終了



セットアップ

### バッテリー残量表示

「バッテリー残量表示」のバーコードをスキャナーして、バッテリー残量が表示されます。「セットアップ」のバーコードをスキャンする必要がありません。バッテリー残量は、BCST-73 に接続されているデバイスに出力されます。



バッテリー残量表示

### データ伝送スピード

デフォルトでは、効率を最大限に向上させるために、データ伝送スピードが高速送信の「データ伝送間隔時間 0ms」に設定しています。データを失う恐れがあるので、ある低速ソフトウェア(例えばアンドロイドデバイスのエクセル)で動作する場合は、低速送信モードに設定することを推奨します。



(\*) データ伝送間隔時間 0ms



データ伝送間隔時間 16ms



データ伝送間隔時間 32ms



データ伝送間隔時間 64ms



データ伝送間隔時間 96ms



データ伝送間隔時間 128ms



保存して終了











セットアップ

 データ伝送間隔時間 256ms
--

## 自動スリープモード

バッテリーの電力を節約するために、スキャナが設定した時間間隔で、自動的にスリープモードに移行することが実現できます。デフォルトの時間間隔では、10分間に設定されています。

 (*自動スリープモードを有効する	 自動スリープモードを無効する
 1分間	 3分間
 5分間	 (*10分間
 30分間	 60分間



保存して終了





セットアップ

## データバッファ

レシーバーが送信範囲外にある場合、読み取られたすべてのデータは 4Mb のバッファに保存されます。

デバイスにデータを一括アップロードするには、送信範囲に戻ってトリガーをダブルクリックします。

スキャナーの電源を入れるたびに、バッファに保存されているバーコードを消去するかどうかを設定することができます。



自動バッファクリアを有効する



(\* 自動バッファクリアを無効する

下記のバーコードをスキャンして、データを自動的にアップロードする/しないと設定することができます。デフォルトで「バッファデータの自動アップロードしない」に設定していました。

接続が成功した後にバッファ内のデータを自動的にアップロードするには、「バッファデータの自動アップロードを有効する」を設定してください。



バッファデータの自動アップロードを有効する



(\* バッファデータの自動アップロードを無効する



保存して終了



セットアップ

## 在庫モード

在庫モードでは、バーコードはバーコードスキャナーのバッファに保存され、必要に応じて何度でもアップロードできます。 デバイスにアップロードした後、バッファ内のバーコードをクリアすることもできます。

ご注意：以下のバーコードを読み取るときに、「セットアップ」と「保存して終了」バーコードをスキャンする必要はありません。本機能は、対応する機能設定バーコードをスキャンするだけで実行できます。



在庫モード



(\*) 通常モードに戻す

バーコードをスキャンしてバッファ内のデータをクリアします(在庫モードのみ)



バッファ内のデータをクリアする(在庫モードのみ)

バーコードをスキャンしてバッファからデータをアップロードします。(在庫モードのみ)



データアップロード(在庫モードのみ)

バーコードをスキャンしてバッファからバーコードの数をアップロードします。(在庫モードのみ)



バーコードの数をアップロードする。(在庫モードのみ)



保存して終了



セットアップ

在庫モードで、同じバーコードを2回スキャンしたくない場合は、スキャナーを「重複スキャンチェックを有効にする」に設定できます。設定後、スキャナーが重複バーコードを読み取ると、「ピープ音」が鳴り、スキャンされた重複バーコードはバッファに保存されません。デフォルトで「重複スキャンチェックを無効にする」に設定しています。必要に応じて、「重複スキャンチェック」を有効にすることができます。



重複スキャンチェックを有効する



(\*) 重複スキャンチェックを無効する

## 照明光制御



(\*) スキャン時に点灯



常時点灯



点灯しない



保存して終了







セットアップ

### ナビゲーションライト制御

 (*) スキャン時に点灯	
 常時点灯	 点灯しない
ナビゲーションライト点滅	
 (*) ナビゲーションライト点滅を有効する	 ナビゲーションライト点滅を無効する

### 音量調整

 ミュート	 最小音量
 (*) 中音量	 最大音量





保存して終了



セットアップ

## 振動通知

 <p>震度通知を無効する</p>	 <p>(* 震度通知を有効する (弱)</p>
 <p>震度通知を有効する (強)</p>	



保存して終了



セットアップ

## スキャニングモード

### 自動赤色光遮断モード

デフォルトでは、スキャニングモードは自動赤色光遮断モードに設定されています。トリガーをクリックすると、読み取り窓から赤い光が投光され、バーコードをスキャンできます。バーコードが正常にスキャンされない場合、設定した待機時間後にレーザーは自動的に消光します。通常、デフォルトは 2 秒で、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒に設定できます。バーコードを正常にスキャンした場合はレーザーがすぐに消えます。

例：下記の手順に従って自動赤色光遮断モードを有効にして、待機時間を 1 秒に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする
2. 「自動赤色光遮断モードモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「自動赤色光遮断モードの待機時間を設定」のバーコードを読み取ります。
4. 「1 秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



(\*) 自動赤色光遮断モード



自動赤色光遮断モードの待機時間を設定



1 秒



(\*)2 秒



5 秒



50 秒



保存して終了



セットアップ

## 連続読み取りモード

連続読み取りモードでは、トリガーをクリックする必要なくて、赤い光が常時投光され、スキャナが自動的にスキャン状態に入ります。

バーコードを正常に読み取ったまでに赤いレーザーは消光されません。バーコードを正常に読み取ると、スキャナはレーザーが消えて待機モードに入ります。デフォルトの待機時間が 2 秒に設定され、ご利用環境により、400ms、800ms、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、10秒、15秒に設定することができます。待機時間が経過するとスキャナのレーザーが再び投光されます。スキャナがバーコードを正常に読み取るとレーザーが消えます。この動作を繰り返し行います。

例：下記の手順に従って連続読み取りモードを有効にして、待機時間を 1 秒に設定します。

- 1.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2.「連続読み取りモード」のバーコードを読み取ります。
- 3.「連続読み取りモードの待機時間」のバーコードを読み取ります。
- 4.「1秒」のバーコードを読み取ります。
- 5.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：アスタリスク "\*"は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています





 連続読み取りモード	 連続読み取りモードの待機時間を設定
 400ms	 800ms
 1秒	 (*) 2秒



保存して終了



セットアップ

 3 秒	 5 秒
 10 秒	 15 秒

### 手動モード

手動モードでは、トリガーを押すと、赤色のレーザービームを投光し、バーコードを読み取ることができます。次のような状況になると、赤色のレーザーが消光します。

バーコードを正常に読み取りました  
トリガーを放しました。



手動モード

### ハンズフリーモード

ハンズフリーモードでは、バーコードを正常に読み取った後も赤い光は点灯したままですが、同じバーコードを繰り返し読み取ることはありません。以下のバーコードをスキャンして、スキャナーをハンズフリーモードに設定できます。



ハンズフリーモード



保存して終了





セットアップ

## 接続方法

### ワイヤレスアダプターモード

ワイヤレスアダプターモードはデフォルトの接続モードです。このモードを利用するには、以下の詳細を参照してください。



1. スイッチを OFF から ON に切り替えて、Inateck BCST-73 の電源を入れます。
2. USB アダプターをコンピューターに接続します。インジケータライトが 1 回点滅する場合は、接続が正常に完成したことを示します。バーコードスキャナーのトリガーを短く押すと、赤色光が投光され、バーコードスキャナーはワイヤレスアダプターモードで動作します。
3. コンピュータでファイルを開き、スキャン結果出力予定の場所にカーソルを移動します。

### ご注意：

- 1) ワイヤレスアダプターモードは、BCST-73 のデフォルト接続モードとなります。Bluetooth 接続モードからワイヤレスアダプターモードに戻りたい場合は、設定バーコードを「セットアップ」-「ワイヤレスアダプターモード」-「保存して終了」の順にスキャンしてください。



保存して終了



セットアップ



(\*)ワイヤレスアダプタモード

2) 1 台または複数台のスキャナーを 1 つの USB アダプターとペアリングする



- a) アダプターをコンピューターに接続します。
- b) 「セットアップ」バーコードをスキャンします。
- c) 「1 台または複数台のスキャナの USB アダプターとペアリング」のバーコードをスキャンして、スキャナーを USB アダプターにできるだけ近づけます (2メートル以内)。



1 台または複数台のスキャナーを 1 つの USB アダプターとペアリング

- d) 三和音(低音から高音) が鳴ると、ペアリングが成功したことを示します。高音が長く鳴ると、ペアリングに失敗して、操作し直し必要があります。もう一台のスキャナーをアダプターとペアリングするには、上記の手順に従って繰り返し操作してください。



保存して終了



セットアップ

### 3) レシーバーを切断する

スキャナーを2つの異なるレシーバーとペアリングしている場合、両方ともスキャナーを接続します。その中の1台のレシーバーと切断したい場合は、下記の手順に従って操作してください。

スキャナーが接続切断予定のレシーバーに接続されていることを確認します。「セットアップ」-「レシーバーを切断する」-「保存して終了」バーコードを順次にスキャンして、スキャナーがレシーバーから切断されます。



レシーバーを切断する

## Bluetooth モード

### Bluetooth SPP Mode

Bluetooth HID モードが、デフォルト設定ではありません。Bluetooth SPP モードに設定するには、「セットアップ」-「Bluetooth SPP モード」-「保存して終了」の順でバーコードを読み取ります。



Bluetooth SPP モード

Inateck BCST-73 が Bluetooth SPP モードに切り替える場合は、Inateck BCST-73 は自動で接続待ちの状態に入り、インジケータが青点滅になって、他のデバイス（スマホ/コンピューター）で検出可能となります。ペアリングが完了しましたら、コンピューターでシリアルデバッグツールを開いて、Bluetooth COM ポートをオープンする必要があります。接続が完了してから三和音（高音から低音まで）が鳴ります。ご注意：ペアリングは、最初に一度行えば、次回から自動的にペアリングして接続を行います。

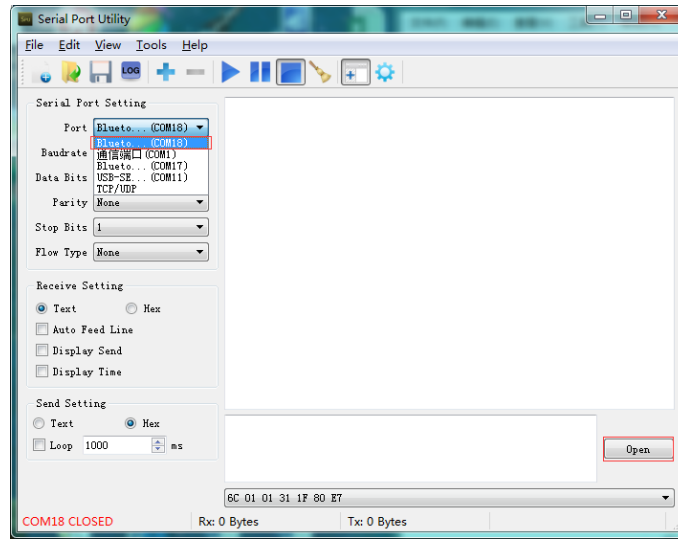
ご注意：リストには、2つの Bluetooth COM ポートがある場合は、初めて接続が失敗したら、もう一つの Bluetooth COM ポート試してください。



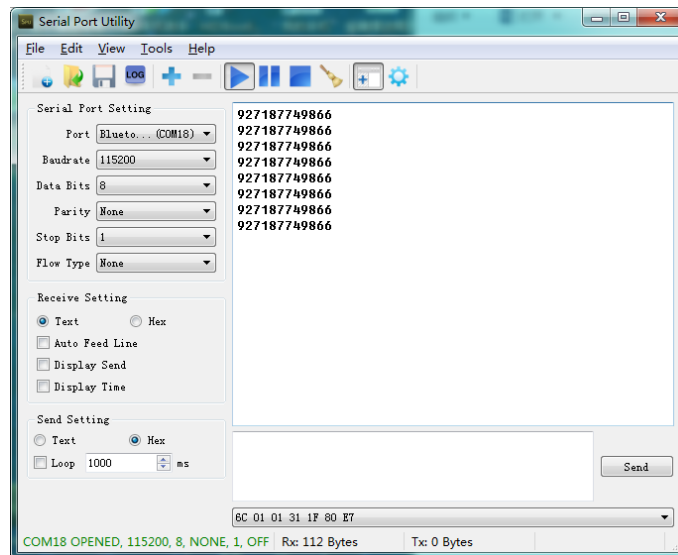
保存して終了



セットアップ



接続が完了した後、次のように読み取ったバーコードがシリアルデバッグツールに表示されます。



Bluetooth 接続が切るには、シリアルデバッグツールを閉めます。  
Inateck BCST-73 は、Bluetooth SPP モードでほかのデバイスと接続する場合は、Inateck BCST-73 で操作する必要がありません。繋がっているコンピューターとの接続を切れて、Inateck BCST-73 が接続待ちの状態に入ります。そして、ほかのデバイスで Inateck BCST-73 を検出して接続します。接続後、新しく接続したコ



保存して終了



セットアップ

コンピュータでシリアルデバッグツールを開いて、前述の通りでBluetooth COMポートをオープンしてください。

### Bluetooth HID Mode

Bluetooth モード(HID)がデフォルト設定ではありません。Bluetooth モード(HID)に切り替えるには、「セットアップ」→「Pairing」→「保存して閉じる」のバーコードをスキャンします。

ご注意：通常、BCST-73 は以前に接続されたデバイスに自動的に再接続できません。失敗した場合、ホストデバイスのリストからBCST-73のペアリング履歴を削除してもう一度ペアリングして接続してください。



Bluetooth モード(HID)

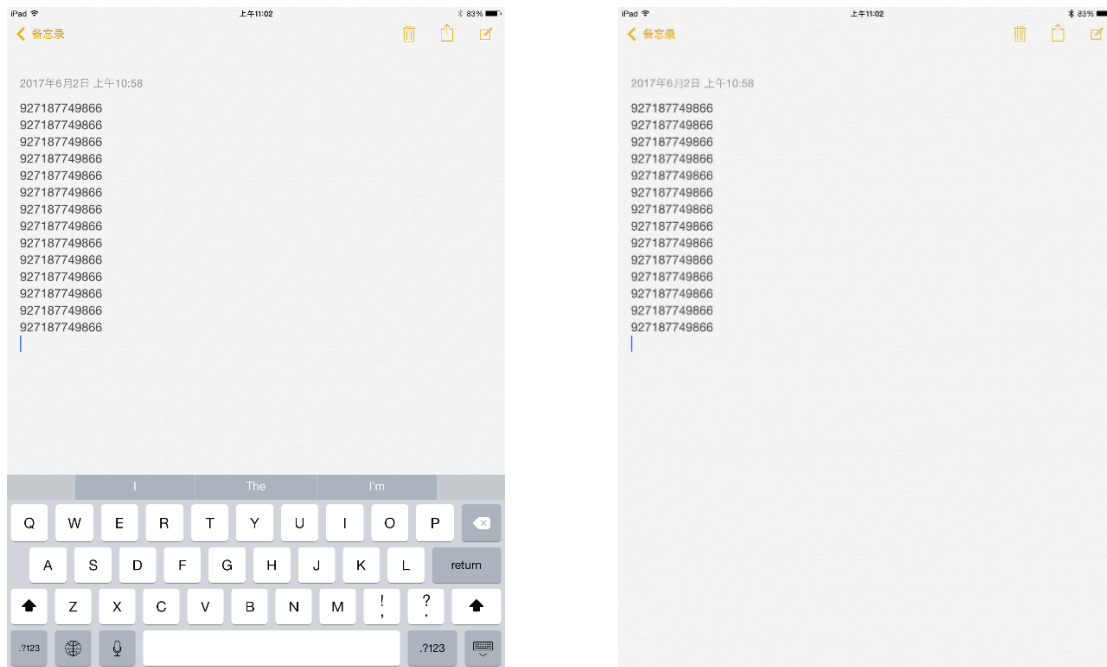


保存して終了



セットアップ

HIDモードでは、BCST-73と接続してから、お使いのスマートフォンは仮想キーボードが非表示されます。iOS ユーザーの場合、ポップアウトするには、トリガーを1秒間長押しします。もう一度長押しすれば、仮想キーボードが非表示されず。下記通りでご参考ください。



ご利用のデバイスがAndroidである場合は、仮想キーボードを有効するには、下記の手順に従って操作してください。

- 1.Android デバイスで「設定」を開きます。
- 2.言語と入力方法を選択します。ご利用の 안드로이드 デバイスのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

Android 7.0 以降：[物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]を選択します。

Android 6.0 以降：現在のキーボード→ハードウェア（入力方法の表示）を選択します。



保存して終了



セットアップ

## Bluetooth 名前の設定

BCST-73 は、Bluetooth 名前設定が可能で、文字数が 32 桁を超えることができません。Bluetooth 名前を設定する前に、BCST-73 が Bluetooth HID モードまたは Bluetooth GATT モードで動作することを確認してください。「セットアップ」-「Bluetooth 名前の設定」-Bluetooth 名前（付録の各文字のバーコードを読み取ります）-「保存して終了」を読み取ります。

ご注意：Bluetooth 名前を設定した後は、ワイヤレス Bluetooth 接続を切断して、スマホ/コンピュータ等デバイス端末でペアリング履歴を削除してください。Bluetooth を介してスキャナーをスマホまたはコンピューターに再接続すると、新しい Bluetooth 名を表示します。

例えば、「Tom」を Bluetooth 名前として設定する手順は下記通りで参考してください。

- 1.「セットアップ」バーコードを読み取ります。
- 2.「Bluetooth 名前の設定」バーコードを読み取ります。
- 3.付録の「T」のバーコードを読み取ります。
- 4.付録の「o」のバーコードを読み取ります。
- 5.付録の「m」のバーコードを読み取ります。
- 6.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。



Bluetooth 名前の設定

## 有線 USB モード

BCST-73 が USB ケーブルを介してコンピューターに接続されている場合、USB モードでのデータ送信が優先となります。



保存して終了





セットアップ

## バーコード設定

### Codabar

Codabar を有効/無効にする	
 (*Codabar を有効する	 Codabar を無効する
スタート・ストップキャラクタを伝送する	
 (* Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送する	 Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送しない

### Code 11

Code 11 を有効/無効にする	
 Code 11 を有効にする	 (* Code 11 を無効にする
チェックサム検証	



保存して終了





セットアップ

Code11 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁または2桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。





スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのCode11または2桁のチェックサム文字付きCode 11を読み取ることはできません。

スキャナが「2桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の2桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしのCode 11または1桁のチェックサム文字付きCode 11を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁または2桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1〜2桁としてチェックサム文字を出力します。Inateck BCST-73 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。

 <p>(*) バーコードを検証しない</p>	 <p>1桁のチェックサム文字で検証</p>
 <p>2桁のチェックサム文字で検証</p>	 <p>(*) チェックサム文字を出力して検証</p>









セットアップ

 チェックサム文字を出力しない検証
---



### Code 128

Code128 を有効/無効にする	
 (*)Code 128 を有効する	 Code 128 を無効する

### GS1-128 (UCC-128/EAN-128 )

GS1-128 (UCC-128/EAN-128)を有効/無効にする	
 GS1-128 を有効する	 (*) GS1-128 を無効する

### USPS と FedEx

USPS と FedEx を有効/無効にする	
 (*)USPS と FedEx を有効する	 USPS と FedEx を無効する



保存して終了



セットアップ

## Code 39

Code 39 を有効/無効にする	
 (* Code 39 を有効する	 Code 39 を無効する
スタート・ストップキャラクタを伝送する	
 Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送 する	 (* Code39 スタート・ストップキャラクタを 伝送しない
チェックサム検証	



保存して終了



セットアップ

Code39 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。



(\*)Code 39 を検証しない



チェックサム文字を出力して Code 39 を検証



チェックサム文字を出力しないで Code 39 を検証



### ASCII コード認識範囲の設定





保存して終了



セットアップ

 <p>すべての Code 39 ASCII 文字を有効する</p>	 <p>(*) すべての Code 39 ASCII 文字を有効しない</p>
---	--

### VIN (車両識別番号)

<p>Code 39 VIN (車両識別番号)を有効/無効にする</p>	
 <p>VIN を有効する</p>	 <p>(*) VIN を無効する</p>



保存して終了



セットアップ

## Code 32

### Code 32 を有効/無効にする

Code 32 は、通常イタリアの医療製品に適用され、Code 39 の特別な形式です。BCST-73 はデフォルトで Code 32 を無効に設定しています。



Code 32 を有効する



(\*) Code 32 を無効する

Code 32 は先頭文字が A に固定されています。以下の関連するバーコードをスキャンして、Code32 の先頭文字 A を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。BCST-73 はデフォルトで Code32 の先頭文字 A を無効に設定しています。



Code32 の先頭文字“A”を有効する



(\*) Code32 の先頭文字“A”を無効する

## Code 93

### Code 93 を有効/無効にする



(\*) Code 93 を有効する



Code 93 を無効する



保存して終了



セットアップ

## EAN-8

EAN-8 を有効/無効にする	
 (* )EAN-8 を有効にする	 EAN-8 を無効にする
チェックサム検証	
 (* )EAN-8 チェックサムを送信する	 EAN-8 チェックサムを送信しない

## EAN-13

EAN-13 を有効/無効にする	
 (* )EAN-13 を有効にする	 EAN-13 を無効にする
チェックサム検証	
 (* ) EAN-13 チェックサムを送信する	 EAN-13 チェックサムを送信しない



保存して終了



セットアップ

## ISBN

### EAN-13 を ISBN に変換する

EAN-13 を ISBN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISBN に変換しないことに設定しています。



EAN-13 を ISBN に変換する



(\*EAN-13 を ISBN に変換しない

### EAN-13 を ISSN に変換する

EAN-13 を ISSN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISSN に変換しないことに設定しています。



EAN-13 を ISSN に変換する



(\* EAN-13 を ISSN に変換しない

## MSI

### MSI を有効/無効する



MSI を有効する



(\* MSI を無効する

### Checksum Code チェックサム検証



保存して終了





セットアップ

MSI はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の1桁または2桁になります。すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。

スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。

スキャナが「1桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの MSI または 2桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。

スキャナが「2桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の2桁に基づいてデータを検証します。チェックサム文字なしの MSI または 1桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。

スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の1桁または2桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の1〜2桁としてチェックサム文字を出力します。BCST-73 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。

スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。



(\*) MSI を検証しない



1桁のチェックサム文字で MSI を検証する



2桁のチェックサム文字で MSI を検証する



(\*)チェックサム文字を出力して検証



保存して終了



セットアップ



チェックサム文字を出力しないで検証

## UPC-A

### UPC-A を有効/無効にする



(\*UPC-A を有効する



UPC-A を無効する

### UPC-A に 0 を付加する

出力した UPC-A バーコードデータに 0 を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、0 を付加しないことに設定しています。



UPC-A に 0 を付加する



(\* UPC-A に 0 を付加しない

### チェックサム検証

UPC-A チェックサムを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A チェックサムを送信しないことに設定しています。



UPC-A チェックサムを送信する



(\* UPC-A チェックサムを送信しない

### ナンバーシステムキャラクタ



保存して終了



セットアップ

UPC-A の先頭の桁はナンバーシステムキャラクタです。以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する」に設定しています。



(\*) UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する



UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力しない



保存して終了



セットアップ

## UPC-E



UPC-E を有効/無効にする	
 (* ) UPC-E を有効にする	 UPC-E を無効にする
UPC-E1 を有効/無効にする	
ほとんどの UPC-E バーコードの先頭の桁は「0」です。先頭の桁が「1」の UPC-E バーコードを読み取る場合は、先に UPC-E を有効にしてから、「UPC-E1 を有効にする」バーコードを設定してください。デフォルト設定として、UPC-E1 を無効に設定しています。	
 UPC-E1 を有効にする	 (* ) UPC-E1 を無効にする
UPC-E の先頭文字を有効/無効にする	
 (* ) UPC-E の先頭文字を有効にする	 UPC-E の先頭文字を無効にする
UPC-E を UPC-A に変換する	
 UPC-E を UPC-A に変換する	 (* ) UPC-E を UPC-A に変換しない
チェックサム検証	





保存して終了





セットアップ

 <p>(*)UPC-E チェックサムを送信する</p>	 <p>UPC-E チェックサムを送信しない</p>
---	---



### IATA 2 of 5

IATA 25 を有効/無効にする	
 <p>IATA 25 を有効する</p>	 <p>(*) IATA 25 を無効する</p>

### Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする	
 <p>(*)Interleaved 2 of 5 を有効する</p>	 <p>Interleaved 2 of 5 を無効する</p>

### Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 を有効/無効にする	
 <p>Matrix 2 of 5 を有効する</p>	 <p>(*) Matrix 2 of 5 を無効する</p>



保存して終了



セットアップ

## Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5

### Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効する

以下の関連するバーコードをスキャンして、Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を無効する」と設定します。



Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効する



(\*)Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を無効する

## GS1 DataBar

GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Stacked 等バーコードは、GS1DataBar と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

### GS1 DataBar を有効/無効する



(\*)GS1 DataBar を有効する



GS1 DataBar を無効する

### GS1 DataBar Composite を有効/無効する



(\*) GS1 DataBar Composite を有効する



GS1 DataBar Composite を無効する







保存して終了





セットアップ

## QR Code

Micro QR Code 等バーコードは、QR Code と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

QR Code を有効/無効する	
 (* )QR code を有効する	 QR code を無効する
通常/白黒反転 QR コード認識	
<p>「通常 QR コードのみを読み取る」とは、スキャナーが白い背景と黒い線のある通常 QR コードのみを読み取ることを意味します。</p> <p>「通常/白黒反転 QR コードを読み取る」とは、背景が黒で線が白い白黒反転された QR コードも通常の QR コードのように読み取ることができることを意味します。</p> <p>スキャナーはデフォルトで、通常の QR コードのみを読み取ります。必要に応じて「通常/白黒反転 QR コードを読み取る」に設定できます。</p>	
 (* ) 通常 QR コードのみを読み取る	 通常/白黒反転 QR コードを読み取る

## Data Matrix

Data Matrix を有効/無効する	
 (* )Data Matrix を有効する	 Data Matrix を無効する



保存して終了



セットアップ

### 通常/白黒反転 Data Matrix 認識

「通常 Data Matrix のみを読み取る」とは、スキャナーが白い背景と黒い線のある通常の Data Matrix のみを読み取ることを意味します。

「白黒反転 Data Matrix のみを読み取る」とは、スキャナーが背景が黒で線が白い白黒反転された Data Matrix のみを読み取ることを意味します。

「通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る」とは、2種類の Data Matrix を読み取ることができることを意味します。

スキャナーはデフォルトで、通常の QR コードのみを読み取ります。必要に応じて「通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る」または「白黒反転 Data Matrix のみを読み取る」に設定できます。



(\*) 通常 Data Matrix のみを読み取る



白黒反転 Data Matrix のみを読み取る



通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る

### PDF 417

Micro PDF 417 等バーコードは、PDF 417 と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

#### PDF 417 を有効/無効する



(\*)PDF 417 を有効する



PDF 417 を無効する





保存して終了







セットアップ



## Aztec code

Aztec Code を有効/無効する	
 Aztec Code を有効する	 (*Aztec Code を無効する

## Maxi code

Maxi Code を有効/無効する	
 Maxi Code を有効する	 (*Maxi Code を無効する

## Han Xin Code

Han Xin Code を有効/無効する	
 Han Xin Code を有効する	 (*Han Xin Code を無効する



保存して終了



セットアップ

## データフォーマットを編集する

### Code ID

Code ID 文字は、バーコードのコードタイプを識別します。複数のコードタイプをデコードするときに役立ちます。

以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの先頭に Code ID を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Code ID を付加しない」と設定します。



Code ID を付加する



(\*) Code ID を付加しない

### Code ID リスト

Code タイプ	Code ID
Code 128	a
EAN-13	b
EAN-8	c
UPC-A	d
UPC-E	e
Code 39	f
Code 93	g
Codabar	h
Interleaved 2 of 5	i
Standard 2 of 5、Industrial 2 of 5	j
Matrix 2 of 5	k
IATA 2 of 5	l
MSI	m
Code 11	n



保存して終了



セットアップ

ISBN	P
ISSN	q
QRCode	A
PDF-417	B
Aztec Code	C
Maxi Code	D
Data Matrix	E
Han Xin Code	F
GS1 128	G
GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited	H

### バーコードの停止コードに関する設定

バーコードの停止文字としてEnterを適用する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Enterを適用する」と設定します。



(\*) 停止文字として Enter を適用する



停止文字として Enter を適用しない



保存して終了



セットアップ

## プレフィックス/サフィックス設定

BCST-73 では 1~32 桁のプレフィックス/サフィックスをカスタマイズされることをサポートされています。デフォルトとして BCST-73 は、プレフィックス/サフィックスを出力すると設定していますが、関連するバーコードをスキャンして、プレフィックス/サフィックスを非表示することができます。

サポートされているプレフィックス/サフィックスのバーコードは付録1をご覧ください。

下記の手順に従って、「#」をプレフィックスとして、「D」をサフィックスとして出力データを設定します

- 1)「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2)「プレフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 3)「#」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 4)「サフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
- 5)「D」のバーコードを読み取ります。(付録1をご参照ください)
- 6)「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：プレフィックス/サフィックス設定が完了すると自動的にプレフィックス/サフィックスを出力します。



プレフィックスを設定する



(\*プレフィックスを表示する



(\*サフィックスを表示する



サフィックスを設定する



プレフィックスを非表示する



サフィックスを非表示する



保存して終了











セットアップ

## バーコードデータの先頭/末尾文字の削除

BCST-73 は、出力されたバーコードデータの先頭/末尾の (0~99 桁) 文字を削除できます。初期設定で出力されたバーコードデータの先頭/末尾の文字が削除されません (0 桁を削除する)。

下記の手順に従って、12 桁の先頭文字と 4 桁の末尾文字を削除することを設定します。

- 1)「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2)「先頭文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
- 3)「1 桁」のバーコードを読み取ります。
- 4)「2 桁」のバーコードを読み取ります。
- 5)「末尾文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
- 6)「4 桁」のバーコードを読み取ります。
- 7)「保存して終了」のバーコードを読み取ります。





 先頭文字を削除する	 末尾文字を削除する
 (*) 0 桁	 1 桁
 2 桁	 3 桁
 4 桁	 5 桁



保存して終了






セットアップ

 <p>6 桁</p>	 <p>7 桁</p>
 <p>8 桁</p>	 <p>9 桁</p>

### 大文字/小文字の設定

BCST-73 はバーコードの文字をすべて大文字または小文字に切り替えることができます。デフォルトでは「大文字/小文字を変更しない」と表示されますが、以下の関連するバーコードをスキャンして大文字/小文字を変更することができます。

 <p>大文字に変更する</p>	 <p>小文字に変更する</p>
 <p>(*) 大文字/小文字を変更しない</p>	



保存して終了



セットアップ

## 追加コード

EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードは追加コードをつけることができます。2桁または5桁の追加コードは通常、メインコードの右側にありますが、メインコードよりサイズが小さいです。追加コードが無効になっている場合に BCST-73 はメインコードのみ読み取ります。

### 2桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに2桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。デフォルトで「2桁の追加コードを無効する」と設定します。



2桁の追加コードを有効する



(\*) 2桁の追加コードを無効する

### 5桁の追加コード

以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに5桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。デフォルトで「5桁の追加コードを無効する」と設定します。



5桁の追加コードを有効する



(\*) 5桁の追加コードを無効する



保存して終了



セットアップ

### 追加コードを必ず読み取る機能

本機能を有効にすると、スキャナーは追加コードのあるバーコードのみを認識し、追加コードのないバーコードを読み取ることができません。

本機能を無効にすると、追加コードのないと追加コードのあるバーコードの両方とも読み取ります。



追加コードを必ず読み取ることを有効する



(\*追加コードを必ず読み取ることを無効する

### 区切り文字

バーコードの間に区切り文字「-」を追加するかどうかを設定することができます。この機能は、追加コード、ISBN コード、および ISSN コードに適用できます。デフォルトで区切り文字「-」を無効にします。



区切り文字「-」を追加する



(\* 区切り文字「-」を追加しない

### Caps Lock 制御

Windows システムで BCST-73 を操作する際に、Caps Lock キーの状態によりバーコード出力結果が変更されることがあります。このようなことを避けるために、「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを有効にしてください。



(\* Caps Lock 制御



Caps Lock 制御を解除する



保存して終了





セットアップ

## 特定の文字で始まるバーコードのみを出力する

BCST-73 は、特定の文字（最大6桁）で始まるバーコードのみを読み取ることに設定できます。出力可能な文字は付録1をご参考ください。デフォルトとし「任意の文字で始まるバーコードを出力する」と設定しています。

下記の手順に従って「A6で始まるバーコードを出力する」と設定します

1. 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2. 「特定の文字で始まるバーコードを出力する」のバーコードを読み取ります。
3. 「A」のバーコードを読み取ります。（付録1をご参照ください）
4. 「6」のバーコードを読み取ります。（付録1をご参照ください）
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：始まる文字を設定した後、BCST-73 は、特定の文字で始まるバーコードのみ出力します。無効するには、「セットアップ」-「任意の文字で始まるバーコードを出力する」-「保存して終了」のバーコードを順番で読み取ります。



始まる文字を設定する



特定の文字で始まるバーコードを出力する



(\*) 任意の文字で始まるバーコードを出力する



保存して終了



セットアップ

## 白黒反転したバーコードを出力する

白黒反転バーコードとは、黒（バー）と白（スペース）が逆の1Dバーコードを指します。（2Dバーコードは、白黒反転に関する設定がバーコードの種類によって個別に行われています。）



白黒反転バーコードを有効する



(\*) 白黒反転バーコードを無効する

## 特定の開始文字を非表示する

Code 128 および Code 39 は、特定の開始文字により製品パラメータを示すために使用されます。例えば、開始文字「P」は部品番号、開始文字「Q」は数量を表示します。BCST-73 は、D、K、P、Q、S、V、1P、1T、10D、17V、2P、4L など Code 128 および Code 39 の特定の開始文字を非表示にすることができます。非表示にすると、出力されなくなります。BCST-73 のデフォルトは「特定の開始文字を出力する」と設定しています。



特定の開始文字を出力しない



(\*) 特定の開始文字をを出力する



保存して終了



セットアップ

## タイムスタンプ

タイムスタンプには、時刻（時、分、秒）と日付（年、月、日）が表示されます。BCST-73 はデフォルトで「タイムスタンプを出力しない」と設定しています。タイムスタンプを出力する/しないと設定できます。また、時刻のみ/日付のみ/時刻と日付を出力することと設定できます。設定後、タイムスタンプは24時間形式で表示され、各バーコードの末尾に追加されます。



時刻を出力する



(\*) 時刻を出力しない



日付を出力する



(\*) 日付を出力しない



セットアップ



保存して終了

タイムゾーンが異なるか、バッテリーが切れたため、タイムスタンプと現地時間が同期していないという問題が発生する場合があります。この場合は、以下のバーコードをスキャンしてタイムスタンプを設定してください。



タイムスタンプの年を設定する



タイムスタンプの月を設定する



タイムスタンプの日を設定する















タイムスタンプの時を設定する



保存して終了



セットアップ

 タイムスタンプの分を設定する	 タイムスタンプの秒を設定する
 数字 0	 数字 1
 数字 2	 数字 3
 数字 4	 数字 5
 数字 6	 数字 7
 数字 8	 数字 9



保存して終了



セットアップ

下記の手順に従って、タイムスタンプを 09 : 34 : 07 2019/04/18 に設定します。

- 1.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2.「タイムスタンプで年を設定」のバーコードを読み取ります。
- 3.「数字 1」のバーコードを読み取ります。
- 4.「数字 9」のバーコードを読み取ります。
- 5.「タイムスタンプで月を設定」のバーコードを読み取ります。
- 6.「数字 4」のバーコードを読み取ります。
- 7.「タイムスタンプで日を設定」のバーコードを読み取ります。
- 8.「数字 1」のバーコードを読み取ります。
- 9.「数字 8」のバーコードを読み取ります。
- 10.「タイムスタンプで時を設定」のバーコードを読み取ります。
- 11.「数字 9」のバーコードを読み取ります。
- 12.「タイムスタンプで分を設定」のバーコードを読み取ります。
- 13.「数字 3」のバーコードを読み取ります。
- 14.「数字 4」のバーコードを読み取ります。
- 15.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 16.「タイムスタンプで秒を設定」のバーコードを読み取ります。
- 17.「数字 7」のバーコードを読み取ります。
- 18.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：タイムスタンプで年を 2000 年から 2099 年までしか設定できません。



保存して終了



セットアップ

## ショートカットキー

ショートカットバーコードには2つのタイプがあります。

1.入力タイプ：これらのショートカットバーコードを使用すると、いくつかの文字をすばやく入力できます。例えば、付録のバーコード「A」をスキャンすると、文字「A」が出力されます。付録Iを参照してください。

2.機能タイプ：これらのショートカットバーコードは、単独で、または組み合わせて機能します。バーコード「Tab」または「Enter」をスキャンすると、「Tab」または「Enter」が機能します。付録IIおよび付録IIIを参照してください。



ショートカットキーを有効する



(\* ショートカットキーを無効する



保存して終了



セットアップ

## 出力文字タイプ

ホストが指定されたコード形式で中国語のデータを印刷するには、「データコーディング形式」バーコードを読み取ります。 スキャナーはデフォルトで GBK コーディング形式でデータを出力します。

1. オリジナルデータ形式：データコーディング出力フォーマットはコード生成環境に関連しています。出力形式は GBK または UNICODE です。
2. GBK ( GB2312 )：メモ帳、Excel などのソフトウェアに適用できます。
3. UNICODE：WORD、QQ などのソフトウェアに適用できます。



(\*) オリジナルデータ形式



GBK ( GB2312 )



UNICODE



(\*) オリジナルデータ形式および GBK データコーディング形式での漢字認識を無効する



オリジナルデータ形式および GBK データコーディング形式での漢字認識を有効する



保存して終了



セットアップ

## GS (^] ) をランダム文字に置換

BCST-73 は、GS 分離文字 (^] ) をランダム文字に置き換えることをサポートしています。 スキャナーはデフォルトで本機能を無効にします。

GS 置換文字を A に設定するには、下記の通りで操作します。

- 1) 「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
- 2) 「GS 置換文字を設定する」のバーコードを読み取ります。
- 3) 付録 I の「A」のバーコードを読み取ります。
- 4) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：上記の手順で置換文字の設定を完了すると、BCST-73 は GS を他の文字に置換する機能を自動的に有効にします。 この機能を無効にする場合は、「セットアップ」-「GS を他の文字に置換することを無効する」-「終了して保存」バーコードを順番に読み取ってください。



GS 置換文字を設定する



GS をほかの文字に置換することを有効する



(\*) GS をほかの文字に置換することを無効する















保存して終了





セットアップ

# 付録 I : キャラクター













!	"
	
#	\$
	
%	&
	
,	(
	
)	*
	
+	/
	
-	.



保存して終了



セットアップ















 /	 0
 1	 2
 3	 4
 5	 6
 7	 8
 9	 :
 ;	 <



保存して終了



セットアップ















 =	 >
 ?	 @
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 G	 H
 I	 J



保存して終了



セットアップ















 K	 L
 M	 N
 O	 P
 Q	 R
 S	 T
 U	 V
 W	 X



保存して終了



セットアップ















 Y	 Z
 [	 W
 ]	 ^
 _	 \
 a	 b
 c	 d
 e	 f



保存して終了



セットアップ











 g	 h
 i	 j
 k	 l
 m	 n
 o	 p
 q	 r
 s	 t



保存して終了



セットアップ

 u	 v
 w	 x
 y	 z
 {	 
 }	 ~

















保存して終了



セットアップ

## 付録 II：単独ショートカットキー

 Enter Key	 スペース
 F1	 F2
 F3	 F4
 F5	 F6
 F7	 F8
 F9	 F10
 F11	 F12

















保存して終了





セットアップ

 Tab	 Backspace
 Delete	 カーソルを上に移動
 カーソルを下に移動	 カーソルを左に移動
 カーソルを右に移動	 Ctrl
 Esc	 Insert
 Home	 End
 Page Up	 Page Down

















保存して終了



セットアップ

## 付録 Ⅲ：組み合わせショートカット















 NUL(Ctrl+@)	 SOH(Ctrl+A)
 STX(Ctrl+B)	 ETX(Ctrl+C)
 EOT(Ctrl+D)	 ENQ(Ctrl+E)
 ACK(Ctrl+F)	 BEL(Ctrl+G)
 BS(Ctrl+H)	 HT(Ctrl+I)
 LF(Ctrl+J)	 VT(Ctrl+K)
 FF(Ctrl+L)	 CR(Ctrl+M)



保存して終了



セットアップ





 SO(Ctrl+N)	 SI(Ctrl+O)
 DLE(Ctrl+P)	 DC1(Ctrl+Q)
 DC2(Ctrl+R)	 DC3(Ctrl+S)
 DC4(Ctrl+T)	 NAK(Ctrl+U)
 SYN(Ctrl+V)	 ETB(Ctrl+W)
 CAN(Ctrl+X)	 EM(Ctrl+Y)
 SUB(Ctrl+Z)	 ESC(Ctrl+[)



保存して終了



セットアップ

 <p>FS(Ctrl+W)</p>	 <p>GS(Ctrl+])</p>
 <p>RS(Ctrl+^)</p>	 <p>US(Ctrl+-)</p>



保存して終了